

社会資本整備審議会 道路分科会
第4回 北陸地方小委員会

議事要旨

1. 日 時 平成26年3月4日(火) 18:45~18:45
2. 場 所 北陸地方整備局 長岡国道事務所 大会議室
3. 出席者

[委員長]

まるやま きゅういち
丸山 久一 長岡技術科学大学 環境・建設系 教授

[委員] 敬称略・五十音順

いしぐろ あつこ 石黒 厚子	(一財)北陸経済研究所地域開発調査部 主任研究員
おおかわ ひでお 大川 秀雄	新潟大学 工学部 建設学科 教授
さの かずし 佐野 可寸志	長岡技術科学大学 環境・建設系 准教授
ながお はるあき 長尾 治明	富山国際大学 現代社会学部 現代社会額科 教授
はやし きよみ 林 紀代美	金沢大学 人間社会研究域 人間科学系 准教授
まるやま ゆか 丸山 結香	(有)MAX・ZEN Performance Consultants 代表取締役

4. 議 事 内 容

(1) 挨拶

- ・北陸地方整備局長

(2) 議題

- ・平成26年度新規事業候補箇所の新規事業採択時評価について

(3) 審議結果

- ・平成26年度新規事業候補箇所の新規採択時評価について事務局より説明があり、慎重審議の結果、原案は妥当との意見を頂いた。

(4) 議事要旨

- ・ 国道41号は内陸部に向かう他の国道に比べ整備が遅れている印象であり、本道路は早期整備が必要。
- ・ P I から時間が経過したが、本道路は地元も期待している。
- ・ この地域は富山市内でも一番雪が多い地域であり、大型車がすれ違えない、路肩の積雪により歩行者が車道を歩いている等の問題がある。
- ・ 本道路の整備により、生活交通が分離されることで現道の交通安全が図られ、近隣から富山市へのアクセス性が向上し物流の効率化も図られる。
- ・ この地域は高齢化が進んでおり、限界集落となる恐れがある。地域の維持、活性化のためインフラ整備は重要であり、早期に完成することが重要。
- ・ 人口が少ない地方部は、道路整備により地域の利便性が向上し、企業や人口の増加に繋がる可能性があるため、人口が少ない地域に人が集まるようなインフラ整備を行うことが重要。
- ・ 防災・減災と並んで「命を守る道の整備」は重要だと考えており、その意味で本道路は重要な事業だと思う。医療格差を無くす事業として、もっとアピールしてはどうか。
- ・ 医薬品に関する効果の説明があったが、産業構造は非常に変わりやすいので、富山が現在の強みを活かして発展していくために、スピード感を持って本道路を整備することが重要。
- ・ 本道路の整備により、終点付近にある富山県広域消防防災センターのアクセス性が向上し、利用しやすくなる。